




アスパラメガ

 使用上の注意	解 説						
<div data-bbox="161 293 188 331" style="float: left; margin-right: 5px;"></div> <div data-bbox="199 293 477 331" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">相談すること</div> <p>1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。 医師の治療を受けている人。 (腎臓疾患で電解質の摂取制限を受けている人など)</p> <p>2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるため、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。</p> <table border="1" data-bbox="209 869 703 976" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">関係部位</th> <th style="width: 85%;">症 状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>皮 膚</td> <td>発疹・発赤、かゆみ</td> </tr> <tr> <td>消 化 器</td> <td>胃部不快感、吐き気・嘔吐</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 服用後、生理が予定より早くきたり、経血量がやや多くなったりすることがあります。出血が長く続く場合は、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。</p> <p>4. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。 便秘、軟便、下痢</p> <p>5. 1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。</p> <p>〈用法・用量に関連する注意〉 (1) 用法・用量を厳守してください。</p>	関係部位	症 状	皮 膚	発疹・発赤、かゆみ	消 化 器	胃部不快感、吐き気・嘔吐	<p>医師の治療を受けている人は、医師から何らかの薬剤の投与又は処置を受けており、自己判断で他の薬剤を服用することは、同種薬剤の重複投与や相互作用などを引き起こすおそれがありますので、医師に相談するようお勧めください。 (特に腎臓疾患で治療を受けている人は、腎臓機能が低下している可能性があり、電解質の排泄低下によって、高カリウム血症又は高マグネシウム血症を呈するおそれがあります。)</p> <p>配合されている成分により、あらわれることが予測される副作用症状を記載しています。これらの症状があらわれた場合には、直ちに服用を中止し、本剤の添付文書を持って医師の診療を受けるようお勧めください。ビタミンB₁又はビタミンB₁誘導体を含む製剤やビタミンEを服用すると、人によっては発疹・発赤、かゆみ、胃部不快感、吐き気・嘔吐の症状があらわれる場合があります。</p> <p>ビタミンEは下垂体や副腎系に作用してホルモンの分泌を調節する作用があるため、時に生理が早くきたり、経血量がやや多くなったりすることがあります。また、更年期の女性では一度閉経したあとでも卵巣の機能が完全に停止していない場合はビタミンEの服用により、再び生理が始まるケースもあります。これらの現象は病的なものではなく、内分泌のバランス調整による一時的なもので、本剤の服用を続けても差し支えありません。しかし、出血が長く続く場合は、他の原因による性器出血も考えられます。</p> <p>一過性の軽い副作用である便秘、軟便、下痢については当該副作用の発現後、直ちに服用を中止する必要はありませんが、当該副作用の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、本剤の添付文書を持って医師の診療を受けるようお勧めください。</p> <p>効果のあらわれ方は、症状や服用される人の体質などにより異なりますが、1ヵ月位服用しても症状の改善が見られない場合には、他の原因も考えられますので、服用を中止し、本剤の添付文書を持って医師の診療を受けるようお勧めください。</p> <p>医薬品にはそれぞれ有効な用法・用量が決められています。それを下回った場合には効果が得られないこともあり、また、定められた用量以上大量に服用しても、効果はそれに比較して上がるわけではなく、場合によっては副作用があらわれるおそれもあります。薬は定められた用法・用量を正しく守ることが大切です。</p>
関係部位	症 状						
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ						
消 化 器	胃部不快感、吐き気・嘔吐						

 使用上の注意	解 説
<p>(2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。</p>	<p>小児の自己判断による服用は、誤用や思わぬ事故につながるおそれがあるので、服用に際しては保護者による適切な指導監督が必要です。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>一般的に乳児は1才未満、幼児は7才未満、小児は15才未満をいいます</p> </div>
<p>〈成分に関連する注意〉 配合成分のビタミンB₂により、本剤服用後尿が黄色を帯びることがあります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px 0;"> <p>保管及び取扱い上の注意</p> </div> <p>(1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。</p> <p>(2) 小児の手の届かない所に保管してください。</p> <p>(3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)</p> <p>(4) 服用のつどフタをよくしめてください。</p> <p>(5) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。</p>	<p>ビタミンB₂は水溶性で、水に溶かすと黄色液になります。従って、服用後に排泄される尿が黄色を帯びていますが、これはビタミンB₂が尿中に溶け込んでいるためです。</p> <p>各々の製品により定められた保管条件を守らないと品質の劣化や期待する効果が得られない等の悪影響を及ぼすおそれがあります。</p> <p>小児の誤飲・誤用を防止するために注意喚起しています。</p> <p>他の容器に入れ替えると、入れ替えた薬剤が何であったか分からなくなったり、湿気、汚れ、光などにより薬剤の品質が保持できなくなるおそれがあります。</p> <p>ビンのフタのしめ方が不十分な場合、すきまから空気が入りすることで、品質が保持できなくなるおそれがあります。</p> <p>使用期限とは、最終包装の形態で流通下における通常の保存条件(室温)下で保管された場合に、その性状や品質を保証できる期限です。各製品毎に実施される安定性試験(原則として、最終包装製品を室温で保存)のデータに基づいて設定されています。</p>